

博物館だより

M U S E U M



博物館 TEL 63-1122

展示資料紹介 「岩偶」

本館で常設展示している「岩偶」(松尾地区・長者屋敷遺跡出土)を紹介します。

◆信仰対象を石で表現

粘土などで人の形をかたどった土製品を土偶と呼ぶのに対し、加工しやすい凝灰岩などを使い、人の手や足の表現を省略してひし形に近い形にデフォルメした石製品を岩偶と呼びます。岩偶は主に北海道南部から東北北部までの範囲で分布し、県内では馬淵川流域周辺の遺跡を中心に出土しています。出土数は土偶に比べて非常に少なく、希少な遺物で、土偶と同様に縄文人の精神世界を知る上で重要な資料です。

岩偶の用途は土偶と似ており、狩猟で多くの獲物を獲れるように願ったり、安産祈願などの祈りや祀り、儀式に使用されたりしていたと考えられています。人の形をしています、さまざまな顔や体の形があるの

で人間そのものではなく、縄文人の信仰対象であった精霊の姿を表現したものと考えられています。写真の岩偶は今から約4,200年前の縄文時代中期の竪穴住居跡から出土したものです。複雑な文様を施した平らで楕円な石の上方両側面をえぐり、つまみ状の



岩偶(八幡平市蔵)の前面。
高さ11センチ、厚さ1.7センチ

頭部と三角形の体部を作り出しています。写真では施された加工が少し分かりにくいですが、表面の頭部には浮き彫りにした眼が表され、背面には首を表す線が刻まれています。

本館で展示している実物を見て、岩偶に込められた縄文人の精神を感じてください。

図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆新着ピックアップ

よりよい世界を目指すため、2030年までに達成すべき17の持続可能な開発目標「SDGs」(Sustainable Development Goals)をテーマにした児童読み物シリーズが完結しました。

1冊で一つのテーマを取り上げ、身近な物語として分かりやすくSDGsを学ぶことができます。図表や年表、グラフが問題の理解を手助けしてくれます。



(右)『シオンの花言葉』

作/濱野 京子、絵/ゆの、出版社/講談社

(左)『明日香さんは負けない』

作/福田 隆浩、絵/藤本 たみこ、出版社/講談社

◆図書館ボランティアを募集中

快適な図書館環境を作るために、活動してくれるボランティアを募集しています。

①本のクリニック(本の修繕) 毎月第3木曜日の午前10時から午後3時まで

②おはなしのじかん(読み聞かせ) 毎月第2土曜日
午前の部:午前11時から11時半まで/午後の部:午後2時半から3時まで

③本棚整理 毎週水曜日の午後1時から3時まで

④壁面装飾 2、3カ月に1回(不定期開催)

※全て見学できます。中止になる可能性があるため活動日を確認の上、来館してください。

◎夏季の開館時間に変わりました

■夏季の開館時間 午前9時から午後7時まで

■期間 11月28日(月)まで(予定)

※松尾・荒屋両コミュニティセンター図書室は変更なし